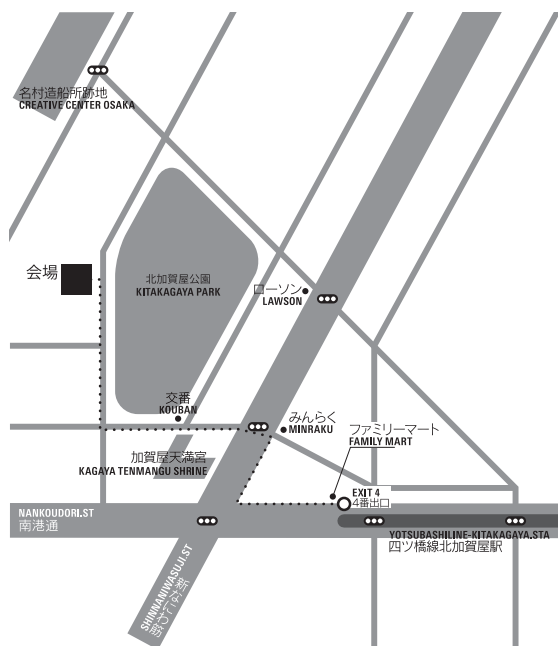


Movie between the Ears

ドイツのラジオ文化におけるドキュメンタリー

remo では、大阪府立現代美術センターにおける粉川哲夫とのダイアログ wireless imagination を契機としてアメリカのパブリックアクセス（ダニエル・デル・ソラール KPFA）イタリアの自由ラジオ（フランコ・ベラルディ Radio Alice）などを紹介してきました。ドイツにもまた、ブレヒト以来のラジオ文化があります。

このたびはケルンからのゲストを迎えて、著名なリュック・フェラーリの取り組みでも知られた「Hör Spiel」（聴覚劇・ラジオドラマ）とは異なる「Radio Feature」というノンフィクションの系譜をレクチャーいただくことになりました。パッケージ化されない音響のあり方と、無線を媒介とした想像力をあらためて考えなおす機会に、ご参集ください。



日時 : 2019年06月10日(月)
会場 : コーポ北加賀屋 (大阪市住之江区北加賀屋5-4-12)
参加 : 無料
時間 : 18:00-20:00

ゲスト : ヤスパゼン・マルテ (ドイツ国営放送ディレクター)

ドイツ・ケルン生まれ、ゲオルグ・アウグスト大学ゲッティンゲン法学部卒業。1989年来日、現在、京都産業大学教授(メディア・コミュニケーション専攻)ドイツ国営放送のシナリオをはじめ、展覧会用の音響・映像装置などを制作。2012年には3.11複合災害取材した「想定外」でPrix Italia 特別賞を受賞。

コメント : Peter Moormann (ケルン大学)
Sandra Hofhues (ケルン大学)
中川 眞 (大阪市立大学)

企画 : 記録と表現とメディアのための組織

remo
RECORD, REPRESENTATION AND MEDIA ORGANIZATION

協力 : 大阪市立大学 都市研究プラザ

科研費「サウンドアート学確立による20世紀アート史の書き換え」研究会